

理事長講演

11月21日(土)12:50～13:20 第1会場

「日本大腸肛門病学会の未来への期待」

司会 宮島 伸宜（医療法人恵仁会 松島病院）

演者 板橋 道朗（埼玉県済生会 加須病院）

会長講演

11月20日(金)11:10～11:40 第1会場

「腸は全身のはじまり」

司会 日比 紀文（北里大学北里研究所病院）

演者 金井 隆典（慶應義塾大学医学部）

特別講演 1

11月20日(金)13:20～13:50 第1会場

「がん研究の歩みと未来 一根治を目指して」

司会 田中 信治（医療法人ハートフル アマノ病院）

演者 森 正樹（東海大学医学部）

特別講演 2

11月21日(土)11:10～11:40 第1会場

「デジタル変革時代における外科系診療の未来」

司会 江口 英利（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学）

演者 北川 雄光（慶應義塾大学）

特別講演 3

11月21日(土)14:40～15:25 第1会場

「腸疾患に対する内視鏡外科の黎明と将来展望」

司会 猪股 雅史（大分大学医学部附属病院）

演者 渡邊 昌彦（西麻布メディカルクリニック）

特別講演 4

11月21日(土)10:10~10:55 第1会場

「日本近代西洋医学の誕生 ―ポンペとボードインそして彼らの弟子たち」

司会 江口 晋（長崎大学大学院 外科学講座 移植・消化器外科学）

演者 相川 忠臣（日本赤十字社長崎原爆病院）

Invited Lecture1（英語セッション）

11月20日(金)10:35~11:05 第8会場

「Intracorporeal anastomosis in robotic colorectal surgery」

司会 Seiichiro Yamamoto（Tokai University Hospital, Japan）

演者 Mina Shen

（China Medical University Hsinchu Hospital, Taiwan）



Invited Lecture2（英語セッション）

11月20日(金)12:50~13:20 第1会場

「Latest Advances and Future Directions in IBD: Precision Medicine」

司会 Akira Sugita（Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Japan）

演者 Stefan Schreiber

（Department Medicine I,

University Hospital Schleswig-Holstein, Kiel University, Kiel German）



Invited Lecture3（英語セッション）

11月21日(土)09:50~10:20 第5会場

「Cutting-Edge Anorectal Surgery: Multimodal Strategies, Sphincter Preservation, and Transanal Innovations」

司会 Shota Takano（Takano Hospital, Coloproctology Center, Japan）

演者 Donglin N Ren

（The Sixth Affiliated Hospital, Sun Yat-sen University, China）



特別企画 1

11月20日(金)10:00～11:00 第1会場

「日本大腸肛門病学会の未来像」

司会 板橋 道朗（埼玉県済生会 加須病院）

齋藤 豊（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

2060年までにやっておきたいこと ―大腸肛門病の未来予想図―

演者 根本 夕夏子（総合病院厚生中央病院消化器病センター内科）

大腸肛門病学会専門医の現状と課題 外科医の視点から

演者 絹笠 祐介（東京科学大学 消化管外科学分野）

肛門科医から見た日本大腸肛門病学会の未来予想図

演者 高野 正太（大腸肛門病センター高野病院）

特別企画 2

11月20日(金)12:50～13:50 第2会場

「外科・肛門科・内科、三位一体で取り組むクローン病肛門病変の診療ストラテジー」

司会 渡辺 憲治（富山大学附属病院）

大宮 直木（藤田医科大学病院）

クローン病肛門病変のマネジメントの現状と課題 ～内科の立場から～

演者 久松 理一（杏林大学医学部消化器内科学）

肛門科から

演者 太田 章比古（医療法人愛知会家田病院）

クローン病症例の長期予後から見た肛門病変のマネジメントの重要性

演者 池内 浩基（兵庫医科大学炎症性腸疾患外科）

特別企画 3

11月20日(金)14:30～15:30 第3会場

「肛門疾患ガイドライン第三版に向けた緊急討論会」

司会 下島 裕寛（医療法人恵仁会 松島病院）

寺田 俊明（医療法人社団俊和会 寺田病院）

生成 AI 時代の直腸肛門領域診療ガイドラインの役割

演者 佐原 カ三郎（牧田総合病院）

肛門疾患診療ガイドラインの変遷—2014年版と2020年版の比較—

演者 松尾 恵五（東葛辻仲病院）

肛門疾患ガイドライン第三版に向けた緊急討論会

演者 下島 裕寛（松島病院大腸肛門病センター）

特別企画 4

11月21日(土)08:30～09:30 第1会場

「大腸癌における AI の臨床応用はどこまですすむか？診断から治療まで(臓器横断、内科・外科クロストーク)」

司会 山口 茂樹（東京女子医科大学病院）

大腸癌手術における重要構造物認識支援の未来 —神経認識 AI と尿管口認識 AI によるナビゲーション手術の新たな展開—

演者 近藤 彰宏（香川大学医学部消化器外科学）

大腸癌 AI の次なるステージ:治療意思決定への展開

演者 一政 克朗（昭和医科大学横浜市北部病院消化器センター）

大腸内視鏡領域における AI 応用の展望(データ運用も含めて)

演者 田中 聖人（京都第二赤十字病院 消化器内科）

特別企画 5

11月21日(土)10:10～11:25 第2会場

「地域における大腸癌外科診療の持続可能性を考える」

司会 佐村 博範（社会医療法人仁愛会 浦添総合病院）

地域における大腸癌外科診療の持続可能性を考える（山形県における現状と課題）

演者 須藤 剛（山形県立中央病院外科）

沖縄県における大腸癌外科診療の現状と課題

演者 川上 雅代（おもと会大浜第一病院下部消化管外科）

地域における大腸癌外科診療の持続可能性 ― 北海道遠紋地区の現状から ―

演者 浅井 慶子（JA 北海道厚生連遠軽厚生病院 外科）

大腸外科の現況と課題 医師偏在と自治体の対策

演者 岩本 一亜（埼玉県済生会加須病院 外科）

特別企画 6

11月21日(土)13:40～14:40 第1会場

「大腸肛門領域における再生医療」

司会 岡本 隆一（東京科学大学）

江口 晋（長崎大学病院）

オルガノイド移植による大腸を基盤とした機能的腸管再生

演者 杉本 真也（慶應義塾大学医学部内科学(消化器)）

炎症性腸疾患に対する再生医療の開発

演者 岡本 隆一（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 消化器病態学分野）

肛門領域に対する幹細胞移植

演者 古川 聡美（JCHO 東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

教育講演 1

11月20日(金)14:00～14:30 第1会場

「大腸癌診断・治療における Molecular Diagnostics の役割 ―早期診断、MRD、Precision Oncology の現状と将来展望―」

司会 平田 敬治（産業医科大学病院）

演者 問山 裕二（三重大学大学院消化管・小児外科）

教育講演 2

11月20日(金)14:30～15:00 第1会場

「クローン病の肛門病変の特徴」

司会 仲瀬 裕志（札幌医科大学附属病院）

演者 岡本 欣也（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

教育講演 3

11月20日(金)15:00～15:30 第1会場

「肛門直腸障害:Rome V 改訂のポイント」

司会 岡本 康介（医療法人恵仁会 松島病院）

演者 安部 達也（くにもと病院肛門外科）

症例検討によるレクチャー1

11月20日(金)12:50～13:50 第4会場

「直腸癌 TNT 症例から考える」

司会 塩見 明生（静岡県立静岡がんセンター）

塚本 俊輔（国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院）

直腸癌 TNT 後の NOM 適応判定:症例から考える

演者 山口 智弘（がん研究会有明病院大腸外科直腸がん集学的治療センター）

東大病院における進行下部直腸癌に対する術前治療の選択、TNT の適応と治療例

演者 野澤 宏彰（東京大学医学部腫瘍外科）

TNT 後の再評価の高精度化に向けた取り組み ― ENSEMBLE 試験 NOM 委員会より ―

演者 賀川 義規（大阪国際がんセンター消化器外科）

症例検討によるレクチャー2

11月20日(金)12:50～13:50 第7会場

「大腸がん予防の up to date～化学予防からスクリーニングまで～」

司会 三上 達也（弘前大学大学院医学研究科）

中村 真一（東京女子医科大学病院）

二次予防としての大腸がん検診—現状と課題、そして今後の展望—

演者 井上 詠（東海大学医学部総合診療学系健康管理学）

大腸がんの二次予防—大腸内視鏡による確実な診断と適切な治療法の選択

演者 小林 清典（松島病院大腸肛門病センター）

大腸内視鏡による大腸癌の予防のエビデンス ～実際の症例を交えて～

演者 吉田 直久（京都府立医科大学大学院 消化器内科学）

症例検討によるレクチャー3

11月21日(土)13:30～14:30 第2会場

「側方リンパ節郭清 開腹、腹腔鏡、Robot」

司会 伊藤 雅昭（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）

秋吉 高志（公益財団法人がん研究会 有明病院）

症例から考える直腸癌側方リンパ節郭清 —ロボット支援手術による根治性と機能温存—

演者 賀川 弘康（東京科学大学消化管外科学分野）

側方郭清をどう使いこなすか— 症例で学ぶ術式選択と今後の展望 —

演者 金光 幸秀（国立がん研究センター中央病院）

内腸骨血管本幹切離を要する高難度側方リンパ節郭清における尾骨筋をガイドにした経会陰的 bottom-up アプローチの手術手技

演者 小倉 淳司（名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科）

症例検討によるレクチャー4

11月21日(土)13:30~14:30 第6会場

「排便機能に関する症例提示」

司会 羽田 丈紀（おなかクリニック）

矢野 孝明（ヤノ肛門外科クリニック）

バイオフィードバック療法が奏効した排便困難、残便感を主訴とした骨盤底筋協調運動障害の1例

演者 高橋 知子（亀田総合病院消化器外科）

糞便塞栓に対する摘便処置において局所麻酔は有効か？

演者 矢野 孝明（ヤノ肛門外科クリニック）

排便に長時間を要し、肛門周囲の圧迫が必要であった高齢女性の一例

演者 岡本 亮（医療法人信和会明和病院 外科、骨盤底（機能障害・臓器脱）センター）

症例検討によるレクチャー5

11月21日(土)15:45~16:45 第6会場

「大腸手術—困難症例への対処法（開腹、腹腔鏡、Robot）」

司会 山本 聖一郎（東海大学医学部附属病院）

竹政 伊知朗（社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院）

低侵襲直腸癌手術における困難症例への対応

演者 福長 洋介（関西医科大学総合医療センター）

骨盤内を占拠する局所進行直腸癌に対する TaTME/TpTME アプローチ併用腹腔鏡下骨盤内臓全摘の工夫

演者 柳 舜仁（川口市立医療センター消化器外科）

ロボット手術を用いた直腸癌困難症例の実例

演者 野中 隆（長崎大学病院 外科学講座 大腸・肛門外科）

「irAE 腸炎における診断と治療のコツ」

司会 平田 賢郎（慶應義塾大学病院）

新崎 信一郎（兵庫医科大学医学部消化器内科学講座）

大腸癌免疫療法時代に求められる実践的マネジメント

演者 砂川 優（聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座）

症例から考える irAE 腸炎診療の分岐点—疑う、調べる、治療につなぐ—

演者 長島 文夫（杏林大学医学部腫瘍内科）

免疫チェックポイント阻害薬関連腸炎治療後に膠原線維性大腸炎を発症した一例

演者 梁井 俊一（岩手医科大学内科学講座消化器内科分野）

International Symposium（英語セッション）

11月20日(金)14:00~15:30 第5会場

「State-of-the-Art Management of IBD: Integrating Medical and Surgical Strategies in Clinical Practice」

司会 Katsuyoshi Matsuoka（Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Toho University Sakura Medical Center, Japan）

Keisuke Hata（Toyoshima Endoscopy Clinic, Japan. Faculty of Medicine, The University of Tokyo, Japan.）

Evolution of Treatment Strategies in IBD: Past, Present, and Future

演者 Stefan Schreiber（Department Medicine I, University Hospital Schleswig-Holstein, Kiel University, Kiel German）

Current Medical Management of IBD in the Era of Advanced Therapies

演者 Shu Chen Wei（National Taiwan University）

Management of Crohn's Perianal Fistula: Indications, Timing, and Outcomes

演者 Yong Sik Yoon（Asan Medical Center）

Challenges and Future Perspectives of Surgery for Ulcerative Colitis

演者 Koji Okabayashi（Department of Gastrointestinal Surgery, Tokai University School of Medicine, Japan）

「若年者大腸がんの臨床病理学的特徴について 1」

司会 船橋 公彦（医療法人社団緑成会 横浜総合病院）

山田 岳史（日本医科大学付属病院）

若年発症大腸癌における年齢層別の臨床病理・分子学的特徴：東・東南アジア国際多施設レジストリ研究(ESEA CRC-01)

演者 大内 晶（愛知県がんセンター消化器外科部）

若年発症大腸癌の臨床病理学的特徴と予後の評価 —sporadic pMMR/MSS に限定した解析—

演者 門馬 智之（福島県立医科大学消化管外科）

若年発症大腸癌の臨床病理学的特徴と Stage 別予後の検討—多施設共同後ろ向き研究—

演者 中西 良太（九州医療センター 消化管外科、がん臨床研究部）

Early-onset colorectal cancer200 例の臨床病理学的特徴と予後

演者 深瀬 正彦（山形県立中央病院 外科）

当院における若年大腸癌の特徴）

演者 米村 圭介（大腸肛門病センター高野病院消化器外科）

若年性大腸癌の臨床病理学的特徴と治療成績

演者 吉田 雅（北海道大学病院消化器外科1）

若年者大腸癌における臨床病理学的特徴と予後および治療強度の検討

演者 笠島 浩行（市立函館病院 消化器外科）

若年発症直腸癌に対する術前化学放射線療法の効果

演者 白鳥 広志（東京大学腫瘍外科）

大腸癌における Field Aging と若年発症大腸癌(EOCRC)特異的エピジェネティックシグネチャーの統合的 in silico 解析

演者 永坂 岳司（川崎医科大学先端腫瘍医学）

「炎症性腸疾患関連腫瘍の診断とマネジメント」

司会 穂苅 量太（防衛医科大学校病院）

江崎 幹宏（佐賀大学医学部内科学講座消化器内科）

潰瘍性大腸炎関連腫瘍の臨床病理学的特徴と初期病変

基調講演 岩男 泰（慶應義塾大学予防医療センター）

潰瘍性大腸炎関連進行大腸癌における診断契機別に見た臨床病理学的特徴と予後

演者 大岡 達子（広島大学病院消化器内科）

大腸炎関連大腸癌における特異的遺伝子発現の同定と鑑別診断への応用

演者 衣笠 哲史（福岡みらい病院）

手術症例から振り返る潰瘍性大腸炎関連腫瘍の診断ストラテジー

演者 品川 貴秀（東京大学腫瘍外科）

潰瘍性大腸炎関連腫瘍の診断における内視鏡・超音波内視鏡の有用性とESDのトータルバイオプシーとしての役割

演者 米田 頼晃（近畿大学医学部消化器内科）

CV-SCANを用いた潰瘍性大腸炎関連腫瘍の検出およびESDにおける有用性

演者 植田 浩貴（防衛医科大学校病院消化器内科）

潰瘍性大腸炎の臨床経過分類と大腸炎関連大腸癌術後再発との関連：全国多施設共同研究

演者 吉村 晴香（九州大学臨床腫瘍外科）

炎症性腸疾患関連大腸癌に対する化学療法の適応と留意点

演者 荻野 崇之（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学）

クローン病の肛門病変に合併する痔瘻癌、肛門管癌について

演者 酒匂 美奈子（JCHO 東京山手メディカルセンター）

クローン病関連直腸肛門管腫瘍に対する診断戦略とサーベイランスの課題

演者 重原 光那（慶應義塾大学医学部内科学(消化器)）

クローン病に合併した直腸肛門部癌に対するサーベイランスの現状

演者 堀尾 勇規（兵庫医科大学炎症性腸疾患外科）

クローン病に合併した消化管悪性腫瘍 101 例の予後因子の検討

演者 井上 英美（JCHO 東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

クローン病関連直腸肛門悪性腫瘍に対する骨盤内臓全摘術の治療成績

演者 大城 泰平（東京山手メディカルセンター）

クローン病関連大腸腫瘍の予後改善に向けた早期診断戦略：早期診断に向けた肉眼形態的特徴と診断経路の解析

演者 中尾 詠一（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）

シンポジウム 3

11 月 20 日(金)10:00～11:15 第 3 会場

「地域医療における肛門科の役割」

司会 黒木 政純（くろぎ医院）

松田 聡（医療法人社団松愛会 松田病院）

診療所・病院・患者の「三方よし」を目指した肛門診療における病診連携の現状

演者 小泉 範明（明石市立市民病院 外科）

地方小規模肛門専門病院が担う包括的肛門疾患診療の役割と課題

演者 錦織 直人（一路会錦織病院）

地域医療における肛門科の役割 ―大学・医師会との教育連携を中心に―

演者 小村 憲一（小村肛門科医院）

肛門科地域連携医療の司令塔としての役割

演者 大橋 勝久（大橋胃腸肛門科外科医院）

肛門科医の連携と市民への情報発信 ―“愛宕おしり研究会”の活動―

演者 羽田 丈紀（おなかクリニック）

肛門科 trainee から見た専門病院の重要性とマーケティング

演者 長田 和義（社会医療法人社団高野会くるめ病院）

西九州させぼ広域都市圏における肛門科の役割

演者 日高 仁（ひだか医院）

総合病院内の一診療科としての肛門科に求められる地域医療における役割

演者 岡田 大介（社会医療法人財団仁医会牧田総合病院肛門病センター）

地方の肛門科専門有床診療所における肛門外科専門医の矜持

演者 森 俊治（森外科医院）

肛門疾患はどこに集約されるのか：地域医療構造の実態

演者 指山 浩志（辻仲病院柏の葉大腸肛門外科）

シンポジウム 4

11月21日(土)08:30～09:45 第6会場

「直腸がんにおける肛門温存のための集学的治療戦略—機能温存と根治性の両立に向けて」

司会 辻 晃仁（香川大学医学部附属病院）

加藤 健志（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター）

AV 5cm 以下低位直腸癌におけるロボット支援手術導入後の術式変遷と術後肛門機能

演者 林田 一真（国立がん研究センター中央病院大腸外科）

局所進行直腸癌に対するロボット支援手術の治療成績 —肛門温存と根治性の両立を目指した治療戦略—

演者 眞部 祥一（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

術前化学放射線後に括約筋温存手術を施行した直腸癌の術後合併症および機能転帰の検討

演者 江本 成伸（東京大学腫瘍外科）

T2N0M0 Stage I 直腸癌に対する Total neoadjuvant therapy の短期成績 -AMBITION 試験-

演者 浜部 敦史（大阪大学医学部消化器外科）

進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant Therapy：病態別レジメン設計とその治療成績

演者 川村 幹雄（三重大学医学部消化管小児外科）

ENSEMBLE-1/2 試験における直腸癌に対する TNT 後の NOM の治療成績

演者 渡邊 純（関西医科大学下部消化管外科学講座）

切除可能局所進行直腸癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療開発の現状と今後

演者 坂東 英明（国立がん研究センター東病院）

シンポジウム 5（英語セッション）

11月21日(土)08:30～09:45 第5会場

「Recent advances in surgery for colorectal diseases」

司会 Kay Uehara（Department of Colorectal Surgery, Juntendo University, Japan）

Mina Shen（China Medical University Hsinchu Hospital）

Global benchmarks for minimally invasive right hemicolectomy for cancer

演者 Daichi Kitaguchi (Department of Surgery, Institute of Medicine, University of Tsukuba, Japan)

Can Powered Circular Staplers Break the Stalemate of Anastomotic Leakage in Colorectal Cancer Surgery? A Meta-analysis of 3,301 Patients

演者 Masatsune Shibutani (Department of Gastroenterological Surgery, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Japan)

A novel technique; Single-Incision Plus One Robot-assisted Surgery(SIPORS)for colorectal cancer by Hugo RAS System

演者 Takehito Yamamoto (Department of Surgery, Kyoto University, Japan)

Expanding the Boundaries of Minimally Invasive Surgery: Robotic Approach for cT4b Colorectal Cancer

演者 Takahisa Hirokawa (Kariya Toyota General Hospital,. Japan)

Surgical Workflow Analysis Using AI-Based Object Recognition in Laparoscopic Colorectal Surgery

演者 Yoshiko Bamba (Department of Surgery, Institute of Gastroenterology Tokyo Women's Medical University, Japan)

シンポジウム 6

11月21日(土)08:30~10:00 第3会場

「若年者大腸がんの臨床病理学的特徴について 2」

司会 五井 孝憲 (福井大学医学部附属病院)

松橋 延壽 (岐阜大学医学部附属病院)

50歳未満の若年性大腸癌における臨床病理学的・遺伝学的特徴: GALAXY 試験附随研究

演者 横田 満 (倉敷中央病院外科)

50歳未満の若年性大腸癌における臨床病理学的特性と長期予後の検討: 多施設共同データベースを用いた後方視的研究

演者 森内 俊行 (広島大学医系科学研究科 消化器・移植外科)

若年性大腸癌の臨床病理学的特徴の検討

演者 前橋 学 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

AYA 世代大腸癌 100 例における臨床病理学的特徴、分子学的背景と包括的支援の現状

演者 長谷川 健太（大阪国際がんセンター消化器外科）

若年性大腸癌の臨床病理学的特徴と腫瘍内細菌についての検討

演者 松井 隆典（日本医科大学付属病院消化器外科）

若年性直腸癌の臨床病理学的特徴と治療成績の検討

演者 神馬 真里奈（がん研究会有明病院大腸外科）

若年者切除不能大腸癌に対する化学療法

演者 宮本 裕士（熊本大学病院消化器外科）

若年大腸癌患者の臨床病理学的特徴と予後の検討：多施設共同後方視的研究

演者 高村 祐磨（長崎大学外科学講座大腸肛門外科）

当院における若年発症大腸癌手術症例の臨床病理学的特徴の検討

演者 柳澤 公紀（関西労災病院外科）

40 歳未満大腸癌の臨床病理学的特徴

演者 岩田 至紀（岐阜県総合医療センター外科）

シンポジウム 7（英語セッション）

11 月 21 日(土)10:25～11:40 第 5 会場

「Gut Microbiota and Colorectal Diseases: A Future Unlocked by the Microbiome」

司会 Hiroto Miwa (Kawanishi City Medical Center, Japan)

Tomohisa Takagi (Molecular Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of
Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan)

特別発言 Akira Andoh (Kawanishi City Medical Center, Japan)

Right-sided Predominance of Primary Sclerosing Cholangitis-Associated Colitis: Insights from
Gut Microbiota

演者 Haruka Okada (Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal
Medicine, Keio University School of Medicine, Japan)

Gut Microbiota Profiles in Reactive and Metastatic Lymphadenopathy in Colorectal Cancer

演者 Toru Miyake (Department of Gastrointestinal and General Surgery, Shiga University of
Medical Science, Japan)

Microbiome Determinants of Sustained Remission after Antibiotic-Preconditioned FMT in

Ulcerative Colitis: A Prospective Multicenter Study with One-Year Follow-up

演者 Sayaka Mizutani (Innovative Microbiome Therapy Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine, Japan)

Gut Microbiota Analysis for Predicting Clinical Relapse in Patients with Quiescent Ulcerative Colitis: Multivariate Analysis Using MaAsLin2 and Development of a Predictive Score

演者 Hiroaki Kitae (Molecular Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan)

Correlation between changes in intestinal microbiota and defecatory function before and after radical resection of right-sided colon cancer.

演者 Sohei Akuta (Department of Gastrointestinal Surgery, Saitama Medical University International Medical Center, Japan)

Analysis of Inflammasome-Related Gene Variants in Colchicine-Responsive, MEFV Mutation-Negative Patients with Inflammatory Bowel Disease Unclassified

演者 Kohei Wagatsuma (Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Japan)

Efficacy of Colchicine in Mild-to-Moderate Ulcerative Colitis and Identification of Treatment Response-Associated Molecular Profiles

演者 Hiroki Kurumi (Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Japan)

シンポジウム 8 (英語セッション)

11月21日(土)13:30~14:45 第5会場

「Cutting edge of endoluminal/ transanal surgery for colorectal cancer」

司会 Kotaro Maeda (Himawari Seishinkai Izumi Clinic Medical Checkup Plaza, Japan)

Motohiko Kato (Center for Diagnostic and Therapeutic Endoscopy, Keio University School of Medicine, Japan)

Re-positioning of Endoscopic Ultrasonography in Determining the Treatment Strategy for Colorectal Cancer Suspected of Submucosal Invasion

演者 Noriko Matsuura (Division of Research and Development for Minimally Invasive Treatment, Cancer Center, Keio University School of Medicine, Japan)

Efficacy and Safety of the Water Pressure Method in Colorectal ESD: A Retrospective Comparative Study

演者 Yutaka Sato (Department of Gastroenterology, Oita University Faculty of Medicine, Japan)

Clinical Efficacy and Safety of Endoscopic Submucosal Dissection for Huge Rectal Tumors
演者 Takashi Akutagawa (Department of Endoscopic Diagnostics and Therapeutics, Saga University Hospital, Japan)

Technical Innovations and Outcomes of Endoscopic Submucosal Dissection for Colorectal Lesions Involving Diverticula

演者 Ryosuke Kobayashi (Gastroenterological Center, Yokohama City University Medical Center, Japan)

Dual-operator Endoscopic Tandem Surgery (DuETs) for large colorectal lesions: comparison with single-operator ESD

演者 Takuma Okamura (Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital, Japan)

Evaluation of the effectiveness of underwater colorectal ESD

演者 Yuko Miura (Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan)

Clinical Role of PAEM/ EID for pT1b Lower Rectal Cancer

演者 Yu Maruyama (Department of Gastroenterology and Hepatology, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan)

Feasibility of Peranal Endoscopic Myectomy for Lower Rectal Lesions: A Single-Center Prospective Observational Study

演者 Takashi Kanesaka (Department of Gastrointestinal Oncology, Osaka International Cancer Institute, Japan)

Treatment Strategy for T1 Rectal Adenocarcinoma with Extensive Involvement of the Anal Canal: ESD or Surgical Resection?

演者 Nobuhisa Minakata (Department of Gastroenterology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan)

Efficacy and Safety of Collaborative Endoscopic and Surgical Treatment for Challenging Colorectal Neoplasms

演者 Hidehito Maeda (Department of Digestive and Lifestyle Diseases, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan)

「大腸癌腹膜播種に対する治療戦略」

司会 小林 宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院）

藤田 文彦（久留米大学病院）

大腸癌腹膜播種に対する包括的治療の成績

演者 米村 豊（岸和田徳洲会病院 腹膜播種センター）

同時性腹膜播種症例に対する治療の現状と治療戦略

演者 永田 洋士（国立がん研究センター中央病院 大腸外科）

腹膜播種再発に対する外科的治療戦略

演者 池田 公治（国立がん研究センター東病院 大腸外科）

大腸癌腹膜播種に対する集学的治療戦略—診査腹腔鏡による切除適応選択と完全減量手術の役割—

演者 合田 良政（国立国際医療センター腹膜センター）

大腸癌腹膜播種に対する cytoreductive surgery の適応と治療成績

演者 水本 明良（淡海医療センター消化器外科）

大腸癌腹膜播種に対する腫瘍減量手術および腹腔内温熱化学療法の治療成績

演者 森川 充洋（福井大学第一外科）

大腸癌腹膜播種に対する外科的切除と術後補助化学療法の意義 —多施設共同研究による治療戦略の検討—

演者 野田 恵佑（長崎大学外科学講座大腸肛門外科）

パネルディスカッション 1

「実地医家における IBD 診療の現状と課題」

司会 小金井 一隆（横浜市立市民病院）

山口 トキコ（マリーゴールドクリニック）

肛門病変で初発した症例がクローン病確定診断に至る実際

演者 三枝 直人（増子記念病院大腸肛門外科）

市中肛門科クリニックにおけるクローン病診療の現状と課題

演者 福原 政作（名古屋栄駅前ふくはら大腸肛門外科・消化器内科）

クローン病におけるストーマ造設後長期成績：ストーマ造設要因別予後と課題

演者 長野 健太郎（兵庫医科大学病院 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

クローン病患者における初回手術および再手術のリスク因子の検討

演者 伊藤 貴博（札幌東徳洲会病院IBDセンター）

Bio/JAK 時代における重症潰瘍性大腸炎手術例の現状と課題

演者 小原 尚（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）

潰瘍性大腸炎術後に発生した痔瘻の現状と課題

演者 木村 英明（横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター）

潰瘍性大腸炎術後症例における慢性回腸囊炎発症リスク因子の検討

演者 深田 晃生（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 消化器外科学）

パネルディスカッション 2

11月20日(金)10:00～11:15 第2会場

「進行直腸癌に対する TNT 中長期治療成績と今後検証すべき点」

司会 渡邊 純（関西医科大学下部消化管外科学講座）

向井 俊貴（公益財団法人がん研究会 有明病院）

局所進行直腸癌に対する SCRT+CAPOX による TNT の中長期成績と NOM の検証課題：ENSEMBLE-1

演者 賀川 義規（大阪国際がんセンター 消化器外科）

直腸癌の TNT を含む術前治療における治療効果予測の困難性とその臨床的意義

演者 高山 裕司（自治医科大学附属さいたま医療センター）

局所進行直腸癌に対する TNT の治療成績の検討

演者 堀江 智子（江東病院）

当院における術前治療後の進行下部直腸癌の中長期成績 ～CRT と TNT の傾向スコアマッチングによる比較～

演者 野口 竜剛（がん研究会有明病院 大腸外科）

直腸癌術前治療後の治療戦略：画像・内視鏡評価の限界と残存腫瘍量の重要性

演者 小林 壽範（関西医科大学香里病院 外科）

R0 切除を達成した進行下部直腸癌において術前化学療法は遠隔再発を抑制しうる

演者 山口 峻（長崎大学病院 大腸・肛門外科）

パネルディスカッション 3

11月20日(金)12:50～14:20 第3会場

「痔核の治療(ALTA療法の適応とこだわりの手術法)」

司会 田中 良明 (医療法人社団俊和会 寺田病院)

錦織 英知 (一般社団法人健英会 えさか駅前にしごりおなかとおしりのクリニック)

ALTA併用療法を主軸とした内痔核治療

演者 鉢呂 芳一 (くにもと病院)

ALTA療法を成立させる外科的戦略～適応選択と外科的介入の質～

演者 小原 誠 (OHARA MAKOTO 消化器・肛門外科クリニック)

当院のALTA療法の適応

演者 加藤 久仁之 (ふるだて加藤肛門外科クリニック)

日帰り痔核手術におけるALTA併用療法の進化とその実際

演者 小村 憲一 (小村肛門科医院)

有床診療所における初回治療としてのALTA単独療法～その位置付けと真価について～

演者 日高 仁 (ひだか医院)

当院でのALTA併用療法-分離結紮術と結紮切除術との比較-

演者 岡崎 啓介 (岡崎外科消化器肛門クリニック)

パネルディスカッション 4

11月20日(金)14:00～15:30 第6会場

「大腸がんにおけるプレジジョンメディスンの現状と課題」

司会 田村 孝雄 (近畿大学奈良病院)

杉本 直俊 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター)

血中循環腫瘍DNA陰性Stage II結腸癌における残余再発リスクの層別化とRecurrence predict valueの有用性

演者 水野 翔大 (慶應義塾大学医学部一般・消化器外科)

日本人大腸癌におけるMSI-H/dMMRの実態と術前MSI/MMR検査の施設間格差

演者 森本 祥悠 (大阪急性期総合医療センター消化器外科)

大腸癌転移再発根治切除症例における予後予測因子としての DNA メチル化マーカーの有用性

演者 藤崎 隆（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

右側大腸癌に対する新たな治療戦略：高メチル化大腸癌と BRAF 遺伝子変異

演者 川上 尚人（東北大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学分野）

大腸癌に対するがん遺伝子パネル検査の有効性の検討：C-CAT データベース解析から

演者 西田 尚弘（東海大学医学部臨床腫瘍学）

当院における大腸・直腸癌 CGP 検査の後方視的検討

演者 赤羽 慎太郎（広島大学病院遺伝子診療科）

がん遺伝子パネル検査リアルワールドデータに基づく ERBB2 増幅大腸癌の臨床的意義の検討

演者 北嶋 貴仁（三重大学医学部附属病院ゲノム医療部）

JAGUAR 試験(JACCRO PM-01)：切除不能進行再発大腸癌患者における循環腫瘍 DNA を用いた逐次的包括的ゲノムプロファイリング検査の臨床的有用性を評価する前向き研究

演者 砂川 優（聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座）

パネルディスカッション 5

11 月 20 日(金)14:15～15:30 第 7 会場

「機能性消化管疾患・直腸肛門機能障害の診断と治療」

司会 北條 麻理子（順天堂大学医学部消化器内科）

大橋 勝久（大橋胃腸肛門科外科医院）

当科における排便困難型慢性便秘症の診療の実際

演者 伊原 栄吉（国際医療福祉大学成田病院消化器内科）

機能性便秘症における食後大腸運動反応の異常ーシネ MRI による食後変化量の解析ー

演者 竹田 努（順天堂大学医学部消化器内科）

直腸の拡張と慢性便秘症(排便障害)の関連性に関する検討

演者 力石 健太郎（独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院外科）

慢性便秘患者における直腸内便存在と便意の有無との検討

演者 津田 桃子（北海道対がん協会 札幌がん検診センター）

直腸瘤に対する後腔壁会陰形成を加えた Laparoscopic Ventral Rectopexy と周術期排便機能

演者 加藤 健宏（亀田総合病院消化器外科）

直腸術後排便機能障害における肛門内圧低下の意義

演者 松本 圭太（岐阜大学医学部附属病院 消化器外科）

分娩時肛門括約筋損傷(OASIS)後の排便機能障害に関する診療科連携の重要性

演者 高橋 知子（亀田総合病院消化器外科）

パネルディスカッション 6

11月21日(土)08:30~09:45 第7会場

「機能性直腸肛門痛に対する集学的診療の実際」

司会 小村 憲一（小村肛門科医院）

伊禮 靖苗（大腸肛門病センター高野病院）

肛門痛に対する神経障害性疼痛治療薬の経験

演者 小野 朋二郎（伯鳳会大阪中央病院外科）

疎経活血湯エキス製剤を用いた 肛門部神経因性症状に対する治療

演者 小原 邦彦（おばら消化器・肛門クリニック）

機能性直腸肛門痛に隠れた骨盤内うっ血症候群：造影 CT による診断と漢方治療の実際

演者 内原 智幸（大腸肛門病センター 高野病院）

肛門痛患者に対する脊髄刺激療法(SCS)の治療効果と見えた課題

演者 金子 秀作（大腸肛門病センター高野病院）

当院における機能性直腸肛門痛の治療

演者 相川 佳子（Aico レディースクリニック）

当院における難治性直腸肛門痛 142 例の分析

演者 松田 聡（松田病院大腸肛門病センター）

クリニックにおける機能性直腸肛門痛診療の試み

演者 河野 由紀子（西新駅前こうの整形外科・おしりとおなかクリニック）

特別発言 高野 正太（大腸肛門病センター高野病院）

パネルディスカッション 7

11月21日(土)10:10～11:25 第6会場

「直腸癌局所再発症例に対する集学的治療」

司会 大植 雅之（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター）
植村 守（大阪大学医学部附属病院）

直腸癌局所再発症例に対する集学的治療成績

演者 小嶋 忠浩（静岡がんセンター大腸外科）

直腸癌局所再発における予後不良因子としての骨盤内播種再発

演者 木村 慶（兵庫医科大学下部消化管外科）

直腸癌局所再発に対する最適な術前治療

演者 塚田 祐一郎（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）

直腸癌局所再発に対する骨盤内臓全摘術後死腔炎と再発後生存 - 集学的治療完遂の観点から

演者 村田 悠記（名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科）

直腸癌術後局所再発に対する放射線治療歴は局所 R0 切除率に影響するか

演者 佐伯 崇史（大阪大学医学部医学研究科消化器外科学）

重粒子線(炭素イオン線)治療のための合成吸収性組織スペーサーの紹介

演者 瀧山 博年（量子科学技術研究開発機構 QST 病院）

直腸癌局所再発に対する R0 切除と周術期成績改善を両立する集学的治療戦略

演者 竹田 充伸（大阪大学医学部消化器外科）

パネルディスカッション 8

11月21日(土)10:10～11:40 第8会場

「遺伝性大腸腫瘍の現状と未来」

司会 岡 志郎（広島大学病院）
山口 達郎（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立駒込病院）

当院におけるリンチ症候群拾い上げの現状

演者 山口 瑞生（広島大学病院消化器移植外科）

当院におけるリンチ症候群ユニバーサルスクリーニング陽性例の遺伝診療への到達状況と課題

演者 安岡 宏展（愛知県がんセンター消化器外科部）

家族性大腸腺腫症サーベイランス現況と課題：多施設共同リアルワールドデータに基づく解析とアンケート調査

演者 立田 協太（浜松医科大学医学部附属病院 外科学第二講座）

当院における Lynch 症候群のサーベイランス診療プログラムの検証

演者 大堂 真一郎（がん研究会有明病院 下部消化管内科）

Lynch 症候群における遺伝子変異別にみた径 10mm 以下大腸腫瘍の臨床病理学的特徴

演者 迫友 紀子（広島大学病院 消化器内科）

機械学習を用いた Lynch 症候群予測モデルの構築

演者 高雄 美里（都立駒込病院大腸外科）

家族性大腸腺腫症の診断・治療における現状と未来

演者 田近 正洋（愛知県がんセンター内視鏡部）

家族性大腸腺腫症における結腸全摘・回腸直腸吻合術後の大腸腫瘍発生の検討

演者 吉田 直久（京都府立医科大学大学院 消化器内科学）

70 歳以下の大腸癌患者における遺伝カウンセリング受診の現況

演者 佐々木 和人（東京大学腫瘍外科）

遺伝性消化器腫瘍に対する多施設・多職種診療ネットワークの構築とその臨床的意義

演者 山田 敦（京都大学医学部附属病院腫瘍内科）

パネルディスカッション 9

11 月 21 日(土)13:30～14:45 第 4 会場

「術後合併症の減少を目指した潰瘍性大腸炎治療戦略（術式の工夫、栄養療法、術後管理など）」

司会 石原 聡一郎（東京大学医学部附属病院）

内野 基（兵庫医科大学病院）

重症潰瘍性大腸炎に対する IACA における分割手術選択戦略

演者 後藤 晃紀（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）

潰瘍性大腸炎初回手術におけるハルトマン手術と粘液瘻作成の短期成績の比較

演者 磯部 聡史（杏林大学医学部付属病院下部消化管外科）

潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術におけるストーマ出口閉塞予防のための左側ストーマ造設の有用性：単施設無作為化比較試験

演者 桑原 隆一（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

潰瘍性大腸炎術後の感染性合併症に対する C-reactive protein の有用性の検討

演者 久原 佑太（広島大学大学院医系科学研究科外科学）

潰瘍性大腸炎手術の周術期リスクをどう管理するか—合併症低減に向けた実践的ストラテジー—

演者 水内 祐介（九州大学病院消化管外科）

潰瘍性大腸炎に対する経肛門的アプローチを併用した大腸全摘術後の肛門機能についての検討

演者 関戸 悠紀（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学）

潰瘍性大腸炎術後の回腸嚢炎、瘻孔のリスク因子の検討

演者 岡田 聡（東京大学腫瘍外科）

パネルディスカッション 10

11月21日(土)15:20～16:35 第4会場

「術後合併症の減少を目指したクローン病治療戦略(術式の工夫、栄養療法、術後管理など)」

司会 高橋 賢一（独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院）

辰巳 健志（横浜市立市民病院）

クローン病に対する術前介入後の適切な手術時期を判断する指標—CRP-アルブミン比改善の意義—

演者 永吉 絹子（九州大学臨床・腫瘍外科）

腹部手術を行ったクローン病症例における術前のプロトロンビン時間の検討

演者 羽根田 祥（東北労災病院大腸肛門外科）

当院における術後合併症の減少を目指したクローン病治療戦略

演者 西尾 梨沙（JCHO 東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

クローン病術後吻合部狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術と外科手術の使い分け

演者 辻 嘉斗（大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学）

十二指腸瘻孔を伴うクローン病に対する外科手術の検討

演者 梅田 晋一（名古屋大学医学部附属病院消化器・腫瘍外科）

クローン病直腸切断術後会陰創治癒遅延のリスク因子と難治化症例の特徴

演者 黒木 博介（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）

Crohn 病における KONO-S 式吻合の短期手術成績：縫合不全低減効果の検討

演者 杉山 洸裕（浜松医科大学外科学第二講座）

クローン病腸管病変に対する Minimally Invasive Surgery の現状と短期成績の検討

演者 上神 慎之介（広島大学大学院 医系科学研究科 外科学）

当科におけるクローン病に対する腹腔鏡下手術 373 例の検討

演者 楠 蔵人（兵庫医科大学小鍵外科学講座炎症性腸疾患外科）

パネルディスカッション 11

11 月 21 日(土)15:20～16:35 第 7 会場

「それホントに手術適応？裂肛の治療：保存と手術」

司会 八子 直樹（医療法人桜樹会 八子医院）

錦織 直人（医療法人一路会 錦織病院）

裂肛における保存的治療と外科的治療の選択に関与する臨床的因子の検討

演者 城後 友望子（辻仲病院柏の葉 大腸・肛門外科）

当科における裂肛診療

演者 小野 朋二郎（伯鳳会大阪中央病院外科）

裂肛に対する肛門拡張術の適応と治療成績

演者 石山 元太郎（札幌いしやま病院）

慢性裂肛に対する外科治療の適応と術式選択 ― 肛門機能と付随病変を踏まえた個別化アプローチ

演者 八子 博貴（医療法人桜樹会 八子医院）

当施設での裂肛手術の術式選択と術後短期成績の検討

演者 植田 剛（佐井胃腸科肛門科）

裂肛に対する手術適応と術式選択

演者 岡田 大介（社会医療法人財団仁医会牧田総合病院肛門病センター）

「大腸 Neuroendocrine neoplasm 治療の最適解」

司会 塩谷 昭子（川崎医科大学附属病院）

関口 正宇（国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所）

当院における直腸 NEN に対する内視鏡切除後の長期成績

演者 加藤 尚宏（広島大学病院消化器内科）

当院における直腸 NET 内視鏡切除後ハイリスク症例における管理方針の現状

演者 稲田 裕（京都第一赤十字病院消化器内科）

直腸 NET G1・G2 におけるリンパ節転移リスクと再発の検討

演者 坂元 慧（がん・感染症センター都立駒込病院大腸外科）

直腸 NET におけるリンパ節転移のリスク因子と治療方針についての検討

演者 岩佐 陽介（奈良県立医科大学 消化器・総合外科）

10mm から 20mm 未満の直腸 Neuroendocrine neoplasm に対する治療の検討

演者 水上 亮佑（大腸肛門病センター高野病院消化器外科）

直腸神経内分泌腫瘍に対する内視鏡治療後の垂直断端陽性・判定不能例における追加内視鏡治療：初回治療内容と遺残腫瘍の検討

演者 楠原 光謹（国立がん研究センター中央病院内視鏡科）

直腸神経内分泌腫瘍に対する内視鏡非治療切除後におけるリンパ節転移関連因子および長期予後の検討

演者 早坂 淳之介（虎の門病院消化器内科）

直腸 NET のリンパ節転移リスク因子の検討

演者 山本 峻也（横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科）

直腸 NET 手術における Distal resection margin の最適解～Short distal resection margin は許容されるか～

演者 佐藤 健太郎（がん研究会有明病院消化器センター大腸外科）

直腸 NET のリンパ節転移マッピングと術後予後：外科適応最適化に向けて

演者 高岡 亜弓（埼玉医科大学総合医療センター）

「大腸肛門病学会専門医が手術に参加することで治療成績に差が出るか？」

司会 松田 圭二（同愛記念病院）

水島 恒和（獨協医科大学病院）

日本大腸肛門病学会専門医の関与が大腸癌手術成績に与える影響

演者 三代 雅明（大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学）

大腸肛門病学会専門医の手術参加により治療成績は向上する

演者 高 理奈（天理よろづ相談所病院）

大腸癌手術における大腸肛門病専門医介入の意義：プロペンシティスコアマッチング法を用いた多施設共同研究

演者 橋本 慎太郎（佐世保市立総合医療センター 消化器外科）

直腸癌手術における大腸肛門病学会専門医関与の治療効果

演者 藤井 正一（湘南鎌倉総合病院外科）

当院における大腸肛門病学会専門医が手術執刀することによる周術期治療成績への影響の検討

演者 小林 雄太（大阪国際がんセンター消化器外科）

ストーマ造設術にも大腸肛門病学会専門医が参加すべきか？ -大学病院での検討-

演者 野澤 宏彰（東京大学医学部腫瘍外科）

大腸肛門病専門医が関与した緊急下部消化器手術の特性と短期手術成績

演者 井本 良敬（防衛医科大学校外科）

下部消化管穿孔における大腸外科医の有用性について

演者 宮北 寛士（東海大学消化器外科）

特別発言 小林 宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院）

ワークショップ 3

11月20日(金)8:30～9:45 第6会場

「肛門手術における術後疼痛コントロールと排便ケア」

司会 小野 朋二郎（医療法人伯鳳会 大阪中央病院）

松島 小百合（医療法人恵仁会 松島病院）

当院における術後疼痛管理のアプローチ

演者 ナナージョージ讓時（恵仁会松島病院）

当院での経験から考える痔核手術後の疼痛管理と排便コントロールについて

演者 竹中 雄也（大阪中央病院外科）

肛門手術における術後疼痛コントロールを踏まえた排便ケアの実際

演者 岡本 欣也（東京山手メディカルセンター大腸肛門病センター）

当院の肛門疾患手術症例における術後の疼痛と排便ケアの評価

演者 佐原 力三郎（牧田総合病院肛門病センター）

肛門疾患日帰り手術における術後疼痛コントロールと排便ケアの実際

演者 小村 憲一（小村肛門科医院）

守谷・松田式痔核結紮切除術(変法)後の疼痛と排便の現状と対策

演者 森 俊治（森外科医院）

ワークショップ 4

11月20日(金)9:55～11:10 第7会場

「BOWEL URGENCY の現状～IBD/IBS の観点から～」

司会 久部 高司（福岡大学筑紫病院）

三上 洋平（慶應義塾大学病院）

IBD 診療における便意切迫感評価の実態と課題：医師アンケート調査から示唆される診療姿勢の重要性

演者 櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科消化器血液免疫内科学講座）

治療抵抗性潰瘍性大腸炎に対する Mirikizumab 追加導入療法の治療成績

演者 守屋 圭（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター消化器内科）

潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの当院における有効性と安全性の検討

演者 韓 可（慶應義塾大学消化器内科）

Tulisokibart を中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者に対して 12 週間投与した際の症状消失と臨床的反応との関連性

演者 坂本 雄（MSD 株式会社グローバル研究開発本部クリニカルリサーチ領域）

潰瘍性大腸炎術後における Bowel urgency の規定因子：外科的介入と炎症の観点からみた発症と持続の機序

演者 岡田 純一（慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器））

潰瘍性大腸炎難治例における bowel urgency 合併症例の臨床的特徴と手術治療の有用性

演者 辰巳 健志（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）

下痢型 IBS を含む慢性下痢症患者における腹痛と精神症状が QOL に与える影響

演者 安藤 裕子（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））

下痢型過敏性腸症候群に対する抗菌薬治療の現況

演者 正岡 建洋（川崎市立川崎病院消化器内科）

ワークショップ 5

11 月 20 日（金）12:50～14:05 第 8 会場

「肛門診療で悩み・迷い、苦慮する肛門疾患について（第 2 回）」

司会 辻 順行（大腸肛門病センター高野病院）

吉川 周作（社会医療法人健生会 土庫病院）

診断に苦慮した肛門・直腸血管性病変 2 例 — 静脈石および動静脈奇形の経験 —

演者 田中 香織（森外科医院）

直腸肛門部における水痘・带状疱疹ウイルス・単純ヘルペスウイルス発症による様々な症状とその治療

演者 村山 浩之（医療法人村山会 むらやま大腸肛門クリニック）

同一部位に再発した壊死性筋膜炎の 1 例 — 縫合糸遺残と免疫低下の関与が示唆された症例 —

演者 小野寺 一彦（社会医療法人札幌北楡病院 肛門外科）

痔疾患として治療されていた肛門管癌の症例から学ぶこと

演者 稲垣 水美（健生会土庫病院消化器・肛門病センター）

痔核結紮切除術における抗血栓薬別術後出血リスクの検討

演者 渡部 晃子（松島病院大腸肛門病センター）

直腸腫瘍に対する治療

演者 塩田 哲也（神戸市立西神戸医療センター外科・消化器外科）

ワークショップ 6

11月20日(金)14:15～15:30 第8会場

「大腸癌肝転移の外科治療 術前治療は必要か？その功罪」

司会 塩澤 学（神奈川県立がんセンター）

塚田 祐一郎（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）

大腸癌肝転移に対する術前治療期間を利用した併存疾患のマネジメント

演者 野澤 宏彰（東京大学医学部腫瘍外科）

術前化学療法を施行した大腸癌同時性肝転移症例の検討

演者 望月 秀太郎（山形県立中央病院外科）

切除可能大腸癌肝転移に対する手術先行治療と術前化学療法の比較検討：傾向スコアマッチング解析

演者 高見澤 康之（国立がん研究センター中央病院 大腸外科）

大腸癌同時性肝転移における upfront surgery 適応の個別化に向けた CMS 分類の意義

演者 高嶋 祐助（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

切除可能な直腸癌同時性肝転移に対する治療戦略と成績

演者 坂本 貴志（がん研有明病院消化器センター大腸外科）

H2 の肝限局性転移を有する大腸癌症例に対する術前化学療法後肝切除の治療成績と早期再発因子の検討

演者 川崎 一生（埼玉県立がんセンター）

ワークショップ 7

11月21日(土)8:30～10:00 第2会場

「進行直腸癌に対する術前治療後の側方リンパ節転移診断基準および側方郭清の適応と治療成績」

司会 安井 昌義（独立行政法人労働者健康安全機構 関西ろうさい病院）

山口 智弘（がん研究会有明病院 大腸外科 直腸がん集学的治療センター）

術前画像因子を統合した側方リンパ節転移予測モデルの構築—LLND および術前治療層別化に向けたリスク分類—

演者 久戸瀬 洋三（多根総合病院）

術前治療時代における側方リンパ節郭清の適応戦略：画像診断に基づく選択的 LLND の妥当性と治療成績

演者 大谷 一貴（国立がん研究センター東病院大腸外科）

術前化学療法 of 直腸癌側方リンパ節転移への制御効果についての検討

演者 吉川 千尋（奈良県立医科大学附属病院）

進行下部直腸癌における術前治療の有無に応じた側方郭清適応についての検討

演者 名西 健二（京都府立医科大学 消化器外科）

術前治療のレジメンが術前化学放射線療法後の直腸癌に対する選択的側方郭清の適応に与える影響の検討

演者 横山 雄一郎（東京大学医学部腫瘍外科）

Borderline resectable 直腸癌に対する側方郭清の適応と治療成績

演者 笠井 俊輔（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

進行直腸癌に対する側方リンパ節転移診断基準と治療的側方郭清の適応・治療成績

演者 松井 信平（がん研究会有明病院大腸外科）

直腸癌における術前治療が側方リンパ節郭清の適応および術後排尿機能に及ぼす影響

演者 武井 信諭（がん・感染症センター都立駒込病院大腸外科）

ワークショップ 8

11月21日(土)10:10～11:25 第7会場

「排便困難型を考慮に入れた便秘診療」

司会 野明 俊裕（大腸肛門病センターくるめ病院）

本間 祐子（社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院）

患者自由記載における排便困難型便秘症を示唆する表現の検討

演者 矢野 雷太（国家公務員共済組合連合会広島記念病院）

便排出障害型(排便困難型)慢性便秘症の診断・治療の現状

演者 宮崎 道彦（どうじん会道仁病院大腸肛門病センター）

当院における排便困難型便秘に対する診断方法と治療

演者 酒井 悠（松島病院）

直腸型便秘患者に対する骨盤底筋トレーニングの効果について

演者 石井 正之（高野会くるめ病院）

便排出困難型便秘症の診療

演者 伊禮 靖苗（大腸肛門病センター高野病院大腸肛門機能科）

排便困難型便秘症に対する外科外来主導の病態別診療—器質性・機能性・排便強迫症状への包括的対応—

演者 岡本 亮（医療法人信和会明和病院）

ワークショップ 9

11月21日(土)13:30～15:10 第7会場

「便失禁診療ガイドライン発刊がもたらした便失禁診療・ケアの変化」

司会 佐藤 正美（東京慈恵会医科大学附属病院）

味村 俊樹（自治医科大学附属病院）

便失禁患者における皮膚障害の予防とケア：WOC の視点を踏まえた実践的提案

演者 磯上 由美（フリーランス WOC ナース）

皮膚・排泄ケア認定看護師として便失禁診療ガイドラインを基盤に実践する専門的スキンケア

演者 江川 安紀子（東京慈恵会医科大学附属病院）

便失禁専門外来における過去 20 年間の薬物療法の変化

演者 安部 達也（くにもと病院肛門科）

便失禁診療ガイドラインとともに発展する経肛門的洗腸療法 ～長期成績から見えてくる今後の展望～

演者 本間 祐子（牧田総合病院肛門病センター）

便失禁診療ガイドラインにおける会陰体再建術の位置付け：分娩後会陰体損傷 42 例の治療成績

演者 村上 耕一郎（総心会長岡京病院外科）

便失禁に対する仙骨神経刺激療法の治療成績と試験刺激の予測的役割

演者 勝野 秀稔（藤田医科大学岡崎医療センター外科）

仙骨神経刺激療法治療の現状と課題

演者 伊禮 靖苗（大腸肛門病センター高野病院大腸肛門機能科）

ワークショップ 10

11月21日(土)15:20～16:50 第3会場

「LARS 診療における課題と展望(予防と治療を含む)」

司会 幸田 圭史（大腸肛門病センター高野病院）

西澤 祐吏（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）

術後早期 LARS に基づく長期排便機能の層別化と介入戦略:超低位括約筋温存手術症例の縦断解析

演者 秋月 恵美 (札幌いしやま病院)

低位前方切除術後症候群を予測することは可能か?

演者 伊禮 靖苗 (大腸肛門病センター高野病院 大腸肛門機能科)

外肛門括約筋の筋質・筋量統合指標と肛門機能との関連についての検討

演者 岩瀬 友哉 (浜松医科大学外科学第二講座)

直腸癌術後排便障害における神経温存の再考:肛門挙筋神経の解剖学的検討と Sihler 染色による予備的解析

演者 坂本 純一 (北里大学医学部下部消化管外科学)

TaTME 低位吻合における SST の有用性:人工肛門再造設リスク低減効果の検討

演者 川崎 千瑛 (国立がん研究センター東病院大腸外科)

重症 LARS 患者におけるセルフケア能力が精神的苦痛と QOL に与える影響

演者 榎本 浩也 (国際医療福祉大学那須医療センター消化器外科)

低位前方切除術後症候群の診療・ケアのための人材育成を目指して ～ストーマ・排泄リハビリテーション講習会「新リーダーシップ講習会」の取り組み～

演者 本間 祐子 (牧田総合病院肛門病センター)

LARS はどこで診るべきか?—地域クリニックにおける介入モデルと医療連携の構築—

演者 錦織 英知 (一般社団法人健英会えさか駅前にしごりおなかとおしりのクリニック)

ワークショップ 11

11月21日(土)15:20~16:35 第5会場

「下部消化管における AI 内視鏡の現状と課題」

司会 高林 馨 (慶應義塾大学医学部内視鏡センター)

竹中 健人 (東京科学大学消化器内科)

新規 AI を用いた潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価の取り組み

演者 村田 祥磨 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

実臨床における臨床的寛解潰瘍性大腸炎に対する AI 搭載超拡大内視鏡の有用性

演者 長沼 誠 (関西医科大学内科学第三講座)

潰瘍性大腸炎寛解例の再燃予測における AI 炎症分布評価の有用性

演者 前田 康晴 (昭和医科大学横浜市北部病院消化器センター)

MR エンテログラフィにおける深層学習モデルを用いたクローン病病変検出

演者 竹中 健人（東京科学大学消化器内科）

6mm 以上の JNET type 1 病変における EndoBRAIN-X の腫瘍・非腫瘍鑑別診断能について

演者 岩館 峰雄（佐野病院 消化器センター）

早期大腸癌における 3D 深部構造予測 AI の構築と専用アノテーション支援ツールの開発

演者 高丸 博之（国立がん研究センター中央病院内視鏡科）

腹腔鏡下左側大腸癌手術における AI ナビゲーション手術の開発

演者 白下 英史（大分大学医学部高度医療人育成講座）

ビデオワークショップ 1

11 月 20 日(金)8:30～10:00 第 2 会場

「合併症低減に向けたストーマ造設の工夫と合併症に対する治療 1」

司会 長谷川 博俊（医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院）

本郷 久美子（平塚市民病院）

当科における人工肛門造設の手技と合併症への対応

演者 溝口 正子（東京科学大学消化管外科学分野）

TNT 後低位前方切除術における縫合不全対策としての予防的一時的ストーマ造設戦略

演者 中野 大輔（がん・感染症センター都立駒込病院 大腸外科）

ロボット支援下直腸癌手術におけるストーマ造設の工夫と合併症低減への取り組み

演者 佐々木 優（市立東大阪医療センター 消化器外科）

一時的回腸人工肛門における標準化した造設手技と合併症対策

演者 番場 嘉子（東京女子医大消化器・一般外科）

一時的回腸人工肛門造設における当施設のストマ出口症候群の傾向と治療

演者 吉岡 佑一郎（埼玉県立がんセンター）

合併症低減を目的とした一時的回腸人工肛門造設・閉鎖の工夫

演者 木下 敬史（愛知県がんセンター消化器外科）

ストーマ脱予防を目的とした閉塞性大腸癌に対する 2 連銃式ストーマ

演者 西居 孝文（大阪市立総合医療センター消化器外科）

双孔式横行結腸ストーマにおけるストーマ脱予防の工夫と外科的治療法

演者 栃木 透（千葉大学 先端応用外科）

傍ストーマヘルニアのないストーマを目指して：鏡視下腹膜外経路造設術の工夫と有用性

演者 武田 泰裕（東京慈恵会医科大学消化管外科）

Z-plasty を応用した双口式人工肛門造設法についての考察

演者 本田 志延（宮崎県立延岡病院外科）

ビデオワークショップ 2

11月20日(金)9:45～11:15 第4会場

「結腸癌に対する Robot 支援手術 治療成績と問題点から考える着地点は？1」

司会 鶴田 雅士（国際医療福祉大学成田病院）

番場 嘉子（東京女子医科大学病院）

ロボット支援下結腸癌手術を標準術式としてからの、地方中規模病院での現状と着地点

演者 赤本 伸太郎（住友別子病院外科）

中規模一般病院における結腸癌に対する Robot 支援手術

演者 長谷川 芙美（東京北医療センター）

コスト低減を考慮したロボット支援結腸癌手術の工夫と治療成績

演者 太田 竜（日本医科大学武蔵小杉病院消化器外科）

術式難易度別にみたロボット支援下結腸癌手術におけるダブルバイポーラー法を用いた低コスト運用の可能性

演者 矢作 雅史（立川病院）

当科における安全かつ再現性の高いロボット支援下結腸右半切除術 D3 郭清

演者 岸田 貴喜（愛知県がんセンター）

右側結腸癌に対するロボット支援手術の適応と課題 - Lap・Xi・SP 比較からみた高難度症例への有用性 -

演者 出嶋 皓（がん・感染症センター 都立駒込病院大腸外科）

Hugo TM手術支援ロボットシステムを用いたロボット支援結腸癌手術の短期成績

演者 諏訪 雄亮（関西医科大学下部消化管外科学講座）

術式別短期治療成績からみたロボット支援下結腸切除術における今後の課題

演者 小澤 真由美（横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科）

ビデオワークショップ 3

11月20日(金)9:45~11:15 第6会場

「大腸憩室 Hinchey 分類Ⅲ、Ⅳに対する治療戦略」

司会 深澤 貴子（磐田市立総合病院）

的場 周一郎（東邦大学医療センター大森病院）

当院での大腸憩室穿孔 Hinchey III/IV による汎発性腹膜炎に対する治療成績

演者 山崎 信義（千葉西総合病院外科）

Hinchey 高度大腸憩室炎に対する外科治療戦略の検討

演者 花岡 裕（虎の門病院 消化器外科）

腹膜炎を伴う大腸憩室炎に対する外科的治療戦略 —腹腔鏡手術と開腹手術の後方視的比較検討—

演者 腰野 蔵人（東京女子医科大学病院 消化器・一般外科）

Detour アプローチ:embryological plane に基づいた大腸憩室炎に対する戦略的手術

演者 有田 智洋（京都府立医科大学消化器外科）

当科における膿瘍や瘻孔を伴う大腸憩室炎の腹腔鏡下治療のストラテジー

演者 土谷 祐樹（順天堂大学下部消化管外科）

80 歳以下の左側大腸憩室穿孔 Hinchey 分類 III に対する一期的吻合術と Hartmann 手術の比較検討

演者 眞鍋 裕宇（多根総合病院）

S 状結腸憩室穿孔に対する低侵襲治療戦略 -合併症低減を目指した手術手技の工夫-

演者 赤井 俊也（浜松医科大学医学部外科学第二講座）

Hinchey III 憩室炎に対する保存的治療の可能性-緊急手術回避症例の検討-

演者 中澤 充樹（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター）

ビデオワークショップ 4

11月20日(金)14:00~15:30 第2会場

「直腸脱に対する外科治療 適応と治療成績 1」

司会 門馬 智之（公立大学法人 福島県立医科大学附属病院）

田畑 敏（市立砺波総合病院）

当院における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手技と治療成績

演者 小野 由香利（一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院）

直腸脱に対する腹腔鏡下直腸縫合固定術の手技と治療成績

演者 高島 順平（帝京大学溝口病院外科）

当院での直腸脱に対する手術手技と治療成績

演者 福井 太郎（自治医科大学附属さいたま医療センター一般・消化器外科）

当院における腹腔鏡下直腸固定術(Well's 変法)について

演者 福岡 麻子（聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科）

腹腔鏡下直腸固定術(LVR)の術式の工夫

演者 野明 俊裕（社会医療法人社団高野会くるめ病院）

当院における直腸脱の治療戦略と術式選択 ―機能評価と排便指導を含めた包括的アプローチ―

演者 松木 豪志（明和病院外科・骨盤底(機能障害・臓器脱)センター）

当院における腹腔鏡下直腸固定術の経験

演者 伊藤 信一郎（光晴会病院）

90 歳以上の超高齢者に対する直腸脱手術例の検討

演者 西森 英史（札幌道都病院 外科）

当院における直腸脱治療の MRI を用いた予後予測

演者 阿部 陽介（医療法人ミネルワ会渡辺病院）

ビデオワークショップ 5

11 月 20 日(金)14:00～15:30 第 4 会場

「結腸癌に対する Robot 支援手術 治療成績と問題点から考える着地点は？2」

司会 松田 宙（独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院）

高橋 広城（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター）

腹腔鏡と比較したロボット結腸手術の安全性と有用性：多施設データベースを用いた後方視的解析

演者 富永 哲郎（長崎大学病院 外科学講座 大腸・肛門外科）

結腸癌に対するロボット支援手術の定型化と短期成績―209 例の前後期比較からみた現時点での到達点―

演者 末田 聖倫（大阪国際がんセンター 消化器外科）

ハイボリュームセンターにおける結腸癌に対するロボット支援手術の現状と今後の展望

演者 田中 佑典（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

結腸癌に対するロボット支援手術の現状と課題：標準治療としての「着地点」を見据えた当科の取り組み

演者 平木 将之（関西労災病院 消化器外科）

脾弯曲部近傍の横行結腸・下行結腸癌に対するロボット支援手術の短期成績：腹腔鏡手術との比較

演者 有賀 翔太（国立がん研究センター中央病院 大腸外科）

ロボット大腸手術における体内再建の安定化戦略としての Fusion Surgery:Double Bipolar Method を基盤とした Phase 別 workflow の提案

演者 藤本 禎明（済生会福岡総合病院外科）

結腸癌ロボット手術の現状と着地点 — 手術成績、外科教育、force feedback の可能性

演者 田村 公二（九州大学病院臨床・腫瘍外科）

ビデオワークショップ 6

11月21日(土)8:30～10:00 第4会場

「結腸癌に対する Robot 支援手術 治療成績と問題点から考える着地点は？3」

司会 風間 伸介（焼津市立総合病院）

太田 竜（日本医科大学武蔵小杉病院）

結腸癌に対するロボット支援下手術の有用性と適応

演者 大塚 英男（都立多摩総合医療センター）

ロボット支援結腸切除術の治療成績と課題：標準化に向けた検討

演者 谷田 司（市立東大阪医療センター 消化器外科）

結腸癌に対するロボット手術の定型化と短期成績の検討—脾弯曲部癌に対するハイブリッド手術—

演者 三口 真司（県立広島病院消化器外科）

右側結腸癌に対するロボット支援手術の治療成績の検討—腹腔鏡下手術との比較検証—

演者 小嶋 慶太（北里大学医学部下部消化管外科学）

右側結腸癌に対するロボット支援手術の治療成績と問題点—手術の標準化への道筋と着地点—

演者 吉田 大輔（国立病院機構別府医療センターロボット・内視鏡外科手術センター）

当科における結腸癌に対するロボット支援結腸切除術の治療成績

演者 山本 雄大（東京科学大学消化管外科学分野）

市中病院におけるロボット支援結腸癌手術の手術成績と工夫

演者 大和 美寿々（武蔵野赤十字病院外科・消化器外科）

ロボット支援結腸手術における Hugo RAS システムの有用性に関する多施設共同後ろ向き観察研究

演者 長山 聡（三菱京都病院外科）

ビデオワークショップ 7

11月21日(土)8:30~10:00 第8会場

「大腸腫瘍に対する内視鏡治療; Basic から Advanced まで」

司会 浦岡 俊夫（群馬大学医学部附属病院）

山口 直之（長崎大学病院 光学医療診療部）

10 mm 未満の非有茎性大腸腫瘍に対する低出力純切開波ホットスネアポリペクトミーの切除深度：単施設前向き観察研究

演者 木村 英憲（滋賀医科大学医学部附属病院光学医療診療部）

高度線維化を伴う EMR 後再発病変に対する Underwater EMR

演者 吉井 新二（札幌医科大学医学部内科学講座消化器内科学分野）

トレイニーの大腸 ESD に関する当院における時代変遷

演者 遠山 昌宏（国立がん研究センター中央病院内視鏡科）

結腸憩室上の病変に対する water pressure method を用いた ESD の 1 例

演者 穴井 映光（慶應義塾大学医学部内視鏡センター）

大腸 ESD におけるトラクション併用の有用性：系統的レビューおよびメタアナリシス

演者 山崎 泰史（岡山大学病院消化器内科）

ESD 切除困難病変に対する per-anal endoscopic myectomy (PAEM) の有用性

演者 嶋田 賢次郎（広島市立北部医療センター安佐市民病院内視鏡内科）

下部直腸 T1b 以深癌に対する PAEM/EID および EFTR の実際

演者 佐藤 圭吾（群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学）

Twist-and-drag loop clip closure (TDL) を用いた大腸 ESD 後粘膜欠損閉鎖

演者 堀川 知紀（兵庫医科大学消化器内科学講座）

大腸 ESD 術中穿孔に対して脂肪組織充填を行った 2 例

演者 堀尾 高任（がん研究会有明病院下部消化管内科）

ビデオワークショップ 8

11月21日(土)10:10～11:40 第3会場

「深部痔瘻の手術」

司会 鮫島 隆志（医療法人潤愛会 鮫島病院）

柴田 直哉（医療法人清涼会 いきめ大腸・肛門外科内科）

リニア式経肛門的超音波検査ならではの画像イメージによる深部型痔瘻の手術～筋肉縫合術・筋肉充填術

演者 田中 良明（寺田病院大腸肛門病センター肛門科）

3型痔瘻膿瘍期の経肛門3D エコーと手術所見の照らし合わせ

演者 大橋 勝久（大橋胃腸肛門科外科医院）

Courtney space に膿瘍腔を形成した 痔瘻瘻管の完全切除・括約筋再建による閉鎖術式

演者 宇都宮 高賢（兼清外科）

深部複雑痔瘻に対する診断と肛門括約筋機能温存手術の工夫

演者 岡本 康介（松島病院大腸肛門病センター）

骨盤単純 CT による術前評価に基づく弧状切開法を用いた深部痔瘻手術

演者 石山 元太郎（札幌いしやま病院）

深部痔瘻に対する括約筋温存術式

演者 小野 朋二郎（大阪中央病院外科）

痔瘻に対する診断と治療

演者 柴田 直哉（いきめ大腸・肛門外科内科）

ビデオワークショップ 9

11月21日(土)10:10～11:40 第4会場

「合併症低減に向けたストーマ造設の工夫と合併症に対する治療 2」

司会 竹下 恵美子（獨協医科大学埼玉医療センター）

川合 一茂（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立駒込病院）

カダバー研究から導かれた解剖学的知見とロボット手術が変える腹膜外経路ストーマ造設術

演者 牛込 創（名古屋市立大学消化器外科）

傍ストーマヘルニアの発生率低減に向けた工夫とロボット手術の特性を生かした腹膜外経路作成手技のこだわり

演者 初沢 悠人（東北医科薬科大学消化器外科）

ストーマ合併症(皮膚障害、脱出)に対する治療戦略

演者 長尾 さやか (東邦大学医療センター大橋病院外科)

当院における傍ストーマヘルニアに対する腹腔鏡下 Sugar baker 法の治療成績

演者 佐々木 茂真 (東京慈恵会医科大学西部医療センター外科)

腹直筋中央貫通に着目した傍ストーマヘルニア発生のリスク因子の検討

演者 後藤 充希 (杏林大学医学部付属病院下部消化管外科)

肛門温存直腸手術における一時的回腸ストーマ造設後出口部狭窄に対する術中ストーマチュービングの有用性

演者 山東 雅紀 (国立がん研究センター東病院大腸外科)

潰瘍性大腸炎に対する回腸嚢手術後ストーマ出口閉塞予防に向けた造設手技の工夫

演者 原田 有三 (東京大学 腫瘍外科)

臍ストーマ造設時の工夫と治療成績および至適造設部位の検討

演者 森 良太 (大阪国際がんセンター 消化器外科)

Da Vinci SP を用いた経ストーマ孔アプローチの短期成績とストーマ関連合併症の検討

演者 田藏 昂平 (国立がん研究センター中央病院 大腸外科)

直腸癌手術における一時的人工肛門造設に対する skin bridge 法の有用性—合併症低減を目指した手技の工夫と初期成績—

演者 安藤 幸滋 (九州大学大学院消化器・総合外科)

ストーマ周囲静脈瘤出血に対する血行郭清術:Oxaliplatin 関連類洞障害例を含めた診断と手技の要点

演者 岩井 拓磨 (日本医科大学消化器外科)

ビデオワークショップ 10

11月21日(土)13:30~15:00 第3会場

「直腸脱に対する外科治療 適応と治療成績 2」

司会 栗原 聰元 (公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院)

五代 天偉 (西横浜国際総合病院)

直腸脱に対する Delorme 手術(変法)

演者 山田 英貴 (山田外科内科)

直腸脱に対する Altemeier 法の手技と手術成績

演者 花田 圭太 (洛和会音羽病院 外科)

直腸脱に対するアルテマイヤー手術

演者 梅枝 覚（JCHO 四日市羽津医療センター外科大腸肛門病・IBD センター）

メッシュを用いない直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の治療成績

演者 多加 喜航（明石市立市民病院 外科）

直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の標準化と人的資源最適化の工夫

演者 鈴木 優之（辻仲病院柏の葉大腸肛門科）

当院における完全直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の工夫

演者 相馬 大人（大阪中央病院 外科）

直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術と経肛門手術の治療成績と術式選択

演者 米本 昇平（松島病院大腸肛門病センター）

病態に応じた骨盤臓器脱術式選択とアウトカム

演者 大橋 勝久（大橋胃腸肛門科外科医院）

ビデオワークショップ 11

11月21日(土)15:20～16:50 第2会場

「結腸癌に対する Robot 支援手術 治療成績と問題点から考える着地点は？4」

司会 大沼 忍（東北大学病院）

金城 達也（琉球大学病院）

ロボット支援拡大結腸右半切除術における頭側アプローチと体腔内吻合の定型化による治療成績と課題の検討

演者 橋本 雅弘（大阪急性期・総合医療センター 消化器外科）

術式別にみたロボット支援結腸癌手術成績から、結腸癌手術における至適アプローチを考察する

演者 板谷 喜朗（京都大学消化管外科）

腫瘍部位別解析からみたロボット支援結腸癌手術の短期成績 —ダブルバイポーラ法による手術手技の工夫—

演者 藤井 善章（刈谷豊田総合病院）

当科における結腸癌に対するロボット支援手術の治療成績 -Propensity score matching を用いた腹腔鏡手術との比較-

演者 大井 悠（埼玉県立がんセンター）

結腸癌ロボット手術の適応探索—多機関共同コホート研究：傾向スコアマッチング解析による腹腔鏡手術との比較—

演者 本間 周作（神戸市立医療センター中央市民病院外科）

助手に注目した脾弯曲部結腸癌に対するロボット支援手術の着地点 — ラパロの価値を再考する —

演者 伊藤 慎吾（湘南鎌倉総合病院 外科）

結腸癌に対する全例ロボット支援手術の妥当性 — 定型化・教育・臨床価値から見た最適戦略 —

演者 山川 雄士（名古屋市立大学病院 消化器外科）

ロボット支援大腸癌手術縦 2 件導入の取り組みと治療成績

演者 小野澤 寿志（太田西ノ内病院外科）

複数機種を使用し、コストと治療成績を意識したロボット支援下結腸癌手術

演者 大木 悠輔（愛媛大学医学部消化管・腫瘍外科）

結腸癌に対する根治切除の定型化を da Vinci SP を用いて行うことは可能か

演者 高橋 秀和（大阪けいさつ病院）

ハンズオントレーニング

11 月 21 日(土)14:50～16:50 第 8 会場

「OASIS(分娩時肛門括約筋損傷)診断・修復ハンズオントレーニング」

演者 岡田 義之(昭和医科大学横浜市北部病院産婦人科・女性骨盤底センター)

末光 徳匡(東京慈恵会医科大学産婦人科学講座)

大原 佑介(筑波大学 消化器外科)

JSCP-KSCP Symposium1（英語セッション）

11 月 20 日(金)8:30～9:50 第 5 会場

「Which Procedure for Which Patient?」

司会 Soon Sup CHUNG（Ewha Womans University, Korea）

Toshiki MIMURA（Jichi Medical University Hospital, Japan）

Stapled Hemorrhoidopexy: Korean Style

演者 Jihoi KOO（Songdo General Surgery, Korea）

Pocket Dissection for Minimally Invasive Hemorrhoid Surgery

演者 Katsuhisa OHASHI（OHASHI Clinic, Japan）

How to Deal with Unusual Anal Disease

演者 Woo Jung NAM（Seoul Song Do Hospital, Korea）

Physiologic Testing in the Management of Fecal Incontinence and Low Anterior Resection Syndrome (LARS)

演者 Yuji NISHIZAWA (National Cancer Center Hospital East, Japan)

JSCP-KSCP Symposium2 (英語セッション)

11月20日(金)9:50~11:10 第5会場

「Precision & Extent: The Evolving Standard of Colon Cancer Surgery」

司会 Gyu-Seog CHOI (Kyungpook National University, Korea)

Ichiro TAKEMASA (Osaka International Medical and Science Center, Japan)

T1 Colon Cancer Treatment Strategy after EMR or ESD

演者 Rumi SHIN (Seoul National University, Korea)

Which is the Optimal Approach for Advanced Transverse Colon Cancer, Transverse Colectomy or Extended Right Hemicolectomy?

演者 Tomonori AKAGI (Oita University Hospital, Japan)

Laparoscopic Approach for T4 Colon Cancer Revisited

演者 Byung Soh MIN (Yonsei University, Korea)

Robotic Colon Cancer Surgery Using Various Type of Robotic Surgical System

演者 Yasumitsu HIRANO (Saitama Medical University International Medical Center, Japan)

ESCP Fellowship (英語セッション)

11月20日(金)12:50~13:10 第5会場

司会 Ichiro Takemasa (Osaka International Medical and Science Center, Japan)

Stage II and III Rectal Cancers Selected by Precision MRI Can Be Safely Managed with Upfront Total Mesorectal Excision Without Neoadjuvant Therapy

演者 José Gonçalves Moreira de Azevedo (Digestive Unit, Champalimaud Clinical Center, Champalimaud Foundation, Lisbon Portuga, Faculty of Medicine, University of Lisbon)

ASCRS Fellowship (英語セッション)

11月20日(金)13:20~13:40 第5会場

司会 Ichiro Takemasa (Osaka International Medical and Science Center, Japan)

演者 Despoina Kanata

学会賞受賞記念講演

11月21日(土)13:30~13:40 第1会場

司会 山本 聖一郎（東海大学医学部附属病院）

演者 竹田 充伸（大阪大学医学部附属病院 消化器外科）